

弘大 食品価格高騰で学生支援拡充

コメなど食料品価格が高騰していることを受け、弘前大学は今年度、学生支援を拡充する。前期では同大生協で提供する弁当などの購入費の一部補助を実施し、後期では同大農学生命科学部附属生物共生教育研究センター金木農場で収穫したコメの一部を希望学生に無償で提供する。

23日、福田眞作学長の定例記者会見で発表した。

同大では、物価高騰やコロナ禍で経済的に厳しい状況にある学生を支援しようと、これまでにお米購入補助事業などを実施してきた。今年度もコメの価格上昇など物価高騰の状況が継続する見通しであ

学食や弁当代補助

ることから、新たな支援策に取り組むことを決めた。学生に無償で提供する。1人当たり2～5千程度を想定。

前期では、同大生協食堂で提供するコメを使った料理や作業では、学内アルバイトを弁当を1食当たり50円値引き活用する方針も示した。

する。専用の電子マネーで注文した場合、50円分のポイントを提供する。福田学長は「学生は物価高騰などで大きな影響を受け、トを付与して、実質50円引きすい。早め早めに対応するた

後期 農場のコメ提供も

にするもので、大型連休明けから実施する。後期で実施するコメの提供することについて「コメ不足

に向け、同大は今年度、金木農場の休耕田（56㌥）を活用して耕作面積を366㌥に拡張する。農場祭での一般販売分を除く収量10㌥を希望する

（稲葉智絵）